

[家庭]

「体験活動」や「協働型学習」を通して、 自らの考えを深める生徒の育成

－「絵本の読み聞かせ」と「幼児の育つ環境を考える」学習の導入の工夫－

野池知枝美*

1 主題設定の理由

「幼児の生活と家族」の学習において、幼い子どもに対して興味・関心が高い生徒と、苦手意識があるため関心が低い生徒等があり、学習意欲に温度差が感じられる。家庭科では「衣食住の自立」の学習のように生徒の生活に関連の深い学習も多いが、「幼児の生活と家族」における保育に関わる内容は、自分の将来の生活にとって大切に感じながらも、身近に幼い子どもが少ないため学習したことをすぐに自分たちの生活に役立てることが難しい面を含んでいる。そのような状況の生徒にとって、幼い子どもや「幼児の生活や家族」を身近に感じられるように、幼児の遊びや成長に深く関わりがある「絵本」を取り上げる。「絵本」は生徒自身も幼い頃に成長する過程で触れた経験があり、手軽に入手しやすく、比較的短時間で読めるので関心をもって学習に取り組めるものであると考える。

中学校学習指導要領(平成29年3月告示)の「A家族・家庭生活(2)幼児の生活と家族」では、「ア(ア)幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること、(イ)幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること」、「イ幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること」とあり、「ここでは、幼児の生活と家族について課題をもって、幼児の発達と生活、幼児との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫できることをねらいとしている」と記載されている。幼児にとって、家族を含む幼児を取り巻く「幼児の育つ環境」が大切であると考え。

そこで本題材では、「絵本」を読む学習の「絵本に親しむ」・「絵本の読み聞かせ」を実施する。「幼児の生活と家族」の学習に興味・関心をもって取り組めるように、幼児に関わりの深い「絵本」を活用して「絵本に親しむ」学習を毎時間継続して行う。そして、学習したことを将来に生かすために有意義なものとなるように、「絵本に親しむ」学習で読んだ「絵本」から仲間と共に「絵本の読み聞かせ」の「体験活動」を展開する。「絵本」を読む学習を導入することは、生徒に幼児への関心や、幼児を育てることに眼向けさせるとともに、「幼児の生活と家族」の学習に向けて学習意欲を向上させていく上でも意義深いことである。また、「幼児の成長や発達についての調べ学習」や、「幼児の生活と遊びとおもちゃ」、「保育園訪問において幼児とのふれあい学習」、「幼児の食生活とおやつ」の学習を実施する。生徒は、幼児にとって、家族を含む幼児を取り巻く「幼児の育つ環境」がとても大切なものであることを学んでいく。さらに、「幼児の育つ環境」に対する理解を深めていくために、学習の終末にそれまでの学習をまとめて仲間と共に、「幼児の育つ環境を考える」ために検討し合う「協働型学習」を展開する。これらの学習を通して生徒は、「幼児の生活と家族」や、自分や家族の家庭生活について関心をもち考えを深め、将来に生かそうとする力を身に付けていくと考える。

なお、本研究において、自分の意見を基に互いに意見交換をして検討する場として、仲間の意見を取り入れたり、発展させたり、追究活動をしたりして、仲間と共に学び合うことで互いに学びを高めることを「協働型学習」ととらえる。

2 研究の目的

「幼児の生活と家族」の学習において、「絵本に親しむ」・「絵本の読み聞かせ」と「幼児の育つ環境を考える」学習の「体験活動」や仲間との「協働型学習」を取り入れた学習を展開をすることが、生徒の学習に有効に機能するかどうかを検証することを目的として研究を進める。

*上越市立大潟町中学校

3 研究仮説

「幼児の生活と家族」の学習において、「絵本に親しむ」・「絵本の読み聞かせ」と「幼児の育つ環境を考える」学習の「体験活動」や「協働型学習」を通して、生徒は幼児の成長に興味・関心を高め、自らの考えを深め、今後の課題を見出すであろう。

4 研究の方法

- (1) 家庭科の「幼児の生活と家族」の学習において、題材計画を検討し、授業実践を行う。生徒の学習を記録し、検討する。
- (2) 生徒の学習の記録（各自のワークシート、班のまとめ用紙等）や学習の振り返り、生徒のアンケート調査等の結果の分析を通して、仮説を検証する。

5 研究の内容

(1) 「協働型学習」の実施

- ① 「幼児の生活と家族」の学習で、「絵本に親しむ」学習のまとめの段階に、「絵本の読み聞かせ」の「体験活動」を実施し、仲間と互いに意見交換する「協働型学習」を位置付ける。
- ② 「幼児の生活と家族」の学習の終末に「幼児の育つ環境を考える」学習を展開し、仲間との「協働型学習」を行う。
- ③ 各自のワークシートや班のまとめ用紙を工夫し、話し合い活動や学習のまとめに活用する。

(2) 生徒へのアンケート調査の実施

題材の授業前後の生徒の実態を知るために、アンケート調査を実施し、結果を分析する。

(3) 題材計画と授業の展開の工夫

- ① 毎時間「絵本に親しむ」学習を継続して行う。学習の後半で「絵本の読み聞かせ」の「体験活動」を位置付ける。
- ② 「幼児の生活と家族」の学習の終末に「幼児の育つ環境を考える」学習を位置付ける。

＜「絵本に親しむ」・「絵本の読み聞かせ」学習の流れ＞	＜「幼児の育つ環境を考える」学習の流れ＞
<p style="margin: 0;">「絵本に親しむ」…「体験活動」</p> <p style="margin: 0;">(1) 授業開始時に「絵本」を選ぶ</p> <p style="margin: 0;">(2) 毎時間継続して、最初の10分間に「絵本」を読む</p> <p style="margin: 0;">(3) ワークシートに記入（「絵本」のねらいや感想等）</p> <p style="margin: 0;">※絵本を読む視点 ①幼児 ②保護者 ③保育園や幼稚園の先生</p> <p style="margin: 0;">「絵本の読み聞かせ」…「体験活動」</p> <p style="margin: 0;">(1) 「絵本に親しむ」で読んだ「絵本」の中から幼児に向けて「絵本の読み聞かせ」にふさわしい絵本を1冊選ぶ</p> <p style="margin: 0;">(2) 順番に「読み聞かせ役」と「幼児役」を交替で実施</p> <p style="margin: 0;">(3) 開始前に「絵本の読み聞かせ」をするための注意事項を班の中で検討</p> <p style="margin: 0;">(4) 「絵本の読み聞かせ」を行う（一人5分間・記録2分間）</p> <p style="margin: 0;">繰り返し班の中で実施（タイマーをセット）</p> <p style="margin: 0;">(5) 終了後班の中で「絵本の読み聞かせ」をした感想や実施して分かったこと等、話し合い活動のまとめ…「協働型学習」</p> <p style="margin: 0;">(6) ワークシートに記入（学習のまとめ）</p>	<p style="margin: 0;">「幼児の育つ環境を考える」</p> <p style="margin: 0;">(1) 「幼児の育つ環境を考える」ための資料を読む</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="margin: 0;">資料・幼児のあそび（ごっこあそび、外あそび）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵本」と「読み聞かせ」 ・幼児の食生活とおやつ ・子育て、家族や親の姿勢、地域社会と幼児 ・幼児の生活と安全、危険な場所、幼児の家庭内の事故 ・幼児を育てるために大切なこと、保育の課題 等 </div> <p style="margin: 0;">(2) これまでの学習の振り返り（ファイルを確認）</p> <p style="margin: 0;">(3) 班の話し合いのテーマを決定</p> <p style="margin: 0;">(4) 各班のテーマで話し合い活動を実施…「協働型学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の意見を付せんに記入 ・班のまとめ用ポスターに各自の意見を発表しながら付せんに添付、話し合い活動のまとめ <p style="margin: 0;">(5) 各班の話し合い活動の結果を全体で発表</p> <p style="margin: 0;">(6) ワークシートに記入（学習のまとめと今後の課題）</p>

6 研究の実際

(1) 題材計画の工夫

- ① 題材名 「幼児の生活と家族」・・・13時間
- ② 題材の目標 「幼児の生活と家族」の学習において「体験活動」や「協働型学習」を通して、幼児の成長に興味・関心を高め、自らの考えを深める。
- ③ 実施段階 ○令和元年度3年生1～3組で実施。4月～2月にかけて実施。
○アンケート調査のデータ（1組～3組の生徒）男子37名、女子36名、合計73名。

④ 題材計画 (13時間)

次 時間	学習内容	学習課題 ○学習活動	○教師の手だて
1次 ③	「絵本に親しむ」 学習を行う	1 「絵本」に親しもう ○毎時間授業の最初に10分間「絵本」を読む。 ※絵本を読む視点(①)幼児 ②保護者 ③保育園や幼稚園の先生 ○「絵本」を読んで、幼児にとっての「絵本」のねらいや「絵本」の感想をワークシートに記入する。	○開始前に授業で読む「絵本」を選ばせる。 10分間タイマーをセットする。 ○絵本を読む視点(①②③)を生徒に提示する。 ○「絵本」を読む「体験活動」を行う。読んだ記録をワークシートに記入させる。
	幼児の成長や発達を調べる	2 幼児の成長や発達について調べ学習をしよう ○幼児の成長や発達について資料を調べ、ワークシートにまとめる。	○必要な資料を配付する。 ○教科書や資料を参考に調べて、ワークシートにまとめさせるために支援する。
2次 ⑤	幼児の遊びとおもちゃを考えて、おもちゃの製作をする	1 幼児の遊びとおもちゃを考えよう・幼児のおもちゃを製作しよう ○幼児にとって遊びの大切さを考える。 ○幼児の遊びにふさわしいおもちゃを計画して製作する。 ○夏休み後、各自が製作したおもちゃについて発表する。	○幼児にふさわしいおもちゃを工夫して考えられるように支援する。 ○おもちゃの資料を用意する。 ○作業計画完成後に、製作させる。 ○完成は夏休みの課題とする。
	保育園訪問で幼児とふれあう	2 保育園訪問で幼児とふれあおう ○各自が製作したおもちゃを持参して、幼児とふれあい活動を行う。 ○ふれあい活動で学んだことを終了後にワークシートにまとめる。	○各学級毎に地域の保育園に訪問する。 ○自分が製作したおもちゃを持参させ、幼児と一緒に遊び、ふれあい活動をする。 ワークシートにまとめさせる。
3次 ③	幼児のおやつと食生活を考え、幼児のおやつをつくる	幼児の食生活やおやつを考え、幼児にふさわしいおやつをつくろう ○幼児の食生活について調べる。幼児にふさわしいおやつを考える。 ○幼児のおやつとして米粉を使った「米粉の蒸しパン」と「りんごのケーキ」の調理計画を立て、調理実習をする。	○幼児の食生活や幼児にふさわしいおやつについて調べたり考えさせたりするために支援する。 ○幼児のおやつづくりの調理計画を立てさせ、調理実習を計画的に行う。
4次 ①本時	「絵本の読み聞かせ」学習を行う	「絵本の読み聞かせ」をしよう ○幼児にふさわしい「絵本」を各自が選び、各班で「絵本の読み聞かせ」をする。順番に「読み聞かせ役」と「幼児役」の生徒を交替で行う。 ○「絵本の読み聞かせ」を互いに評価し、「絵本の読み聞かせ」について話し合いまとめる。ワークシートに記録する。	○順番に「絵本」の「読み聞かせ役」と「幼児役」をする生徒を交替させる。各班で「体験活動」を行う。 ○「絵本の読み聞かせ」を評価させる。各班で「協働型学習」を行う。ワークシートに記入できるように支援する。
5次 ①	「幼児の育つ環境を考える」学習を行う	「幼児の育つ環境」について考えよう ○これまでの学習や参考資料を基に各班で、話し合い活動をする。 ○各班毎に話し合ったことを班のまとめ用紙を使って発表する。 ○学習のまとめと各自の今後の課題をワークシートに記入する。	○最初に各自の意見を付せんに入れて記入させる。各班で「協働型学習」を行う。班のまとめ用紙をまとめさせる。 ○ワークシートや資料を参考にできるように支援する。

⑤ 題材の評価

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
○「絵本」や幼児の調べ学習、おもちゃの製作、おやつづくり等の学習内容に興味・関心をもち意欲的に取り組んでいる。 ○これまでの学習を基に意欲的に「幼児の育つ環境を考える」学習をまとめ、今後の課題を考えている。	○幼児の調べ学習、おもちゃの製作、おやつづくり、「絵本の読み聞かせ」等に工夫して取り組んでいる。 ○これまでの学習を基に意欲的に「幼児の育つ環境を考える」学習を仲間と工夫して協力しながらまとめている。	○幼児の調べ学習、おもちゃの製作、おやつづくり等に取り組み完成させている。「絵本の読み聞かせ」を行っている。 ○これまでの学習を基に「幼児の育つ環境」について仲間と協力しながら考え、学習をまとめている。	○「絵本」や幼児の調べ学習、おもちゃの製作、おやつづくり等の学習内容を理解しながら学習に取り組んでいる。 ○これまでの学習を基に意欲的に「幼児の育つ環境」について理解して、仲間と意見交流しながら考えを深めている。

(2) 授業の実際

<1次 1> 「絵本」に親しもう

○毎時間授業開始前に各自がその授業で読む「絵本」を選んで席に着き、授業開始時には、全員が「絵本」を読み始めていた。読み終わったら「絵本」のあらすじや幼児にとってのねらい、感想をワークシートに記録した。

<1次 2> 幼児の成長や発達について調べ学習をしよう

○幼児の成長や発達について資料を参考にしながら調べ学習を実施した。調べたことをワークシートに記入して、まとめた。

<2次 1> 幼児の遊びとおもちゃを考えよう・幼児のおもちゃを製作しよう

○保育園訪問に行って幼児と一緒に遊ぶためのおもちゃを考える。調べ学習で興味をもった年齢を対象に幼児の様々な能力を伸ばして、遊びを工夫できるおもちゃの計画を立て、製作をした。夏休みの課題でおもちゃを完成させた。

<2次 2> 保育園訪問で幼児とふれあおう

○保育園訪問では、各自が製作したおもちゃを持参して、自分が対象とした年齢の園児と一緒におもちゃで遊んだ。

<3次> 幼児の食生活やおやつを考え、幼児にふさわしいおやつをつくろう

○米粉を用いた幼児にふさわしいおやつ「米粉の蒸しパン」と「りんごのケーキ」の調理実習で、各班で協力しながらおやつをつくって試食した。



写真1 【「絵本」を選んでいる場面】

<4次> 「絵本の読み聞かせ」をしよう

○各班で各自が幼児に向けた「絵本の読み聞かせ」にふさわしい「絵本」を選び、「読み聞かせ役」の生徒は「幼児役」の生徒に伝わるように「絵本」を読んでいた。「幼児役」の生徒は幼児の気持ちで熱心に「絵本の読み聞かせ」を聞いていた。その後「絵本の読み聞かせ」について「協働型学習」を行った。



写真2 【「絵本の読み聞かせ」の場面】

<5次> 「幼児の育つ環境」について考えよう

○これまでの学習で学んだことや「幼児の育つ環境」に関する資料を参考に、各自が付せんに自分の意見を記入。各自の意見を基に互いに、「幼児の育つ環境」について話し合い「協働型学習」を行った。その後、班のまとめ用紙を使って全体に向けて話し合ったことを発表した。



写真4 【班の話し合いを発表している場面】

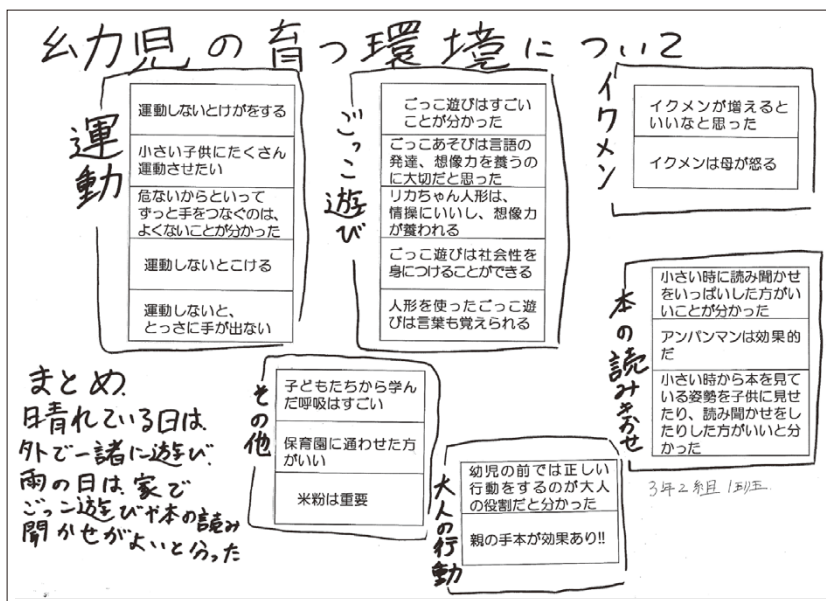


写真3 【班のまとめ用紙】

<題材の学習終了後の生徒の感想>

- 幼児が良く成長する環境が分かった。また、保育園訪問を通して幼児とのかかわり方を学べたので良かったと思う。将来子どもができれば、3年生の家庭科で学んだことを思い出して育児にはげみたい。また、虐待のない社会を目指したい。(男子)
- 今の自分の年になるとあまり幼児と関わることはありませんが、授業で学ぶことによって将来の役に立つので良いことだと思っています。絵本を読むことがないので、幼児とふれあう機会があったら幼児に伝わるように、絵本をゆっくり読みたいと思います。(女子)

(3) アンケート調査の結果と考察

※図1～8アンケート：N=全体人数、帯グラフ内数=割合(%)小数点以下四捨五入

題材の授業前と授業後の生徒の実態を知るために、授業後に「絵本」や「幼児の育つ環境を考える」学習に向けての意識や授業を通して学んだことについてアンケート調査を実施した。回答した生徒は、授業を実施した3年生3学級、男子37名、女子36名、合計73名であった。

① 「保育の学習や幼児について興味・関心」

「保育の学習や幼児への興味・関心はあるか」という問いに、とてもあると回答した生徒は授業前は、16%と低かった。授業後は40%に増え、まあまああると回答した生徒も加えると82%となり、多くの生徒が興味・関心を示した。以上のことから、「幼児の生活と家族」の学習全体を通して生徒は、「保育の学習や幼児への興味・関心」を高めていったと言える。<図1：アンケート>

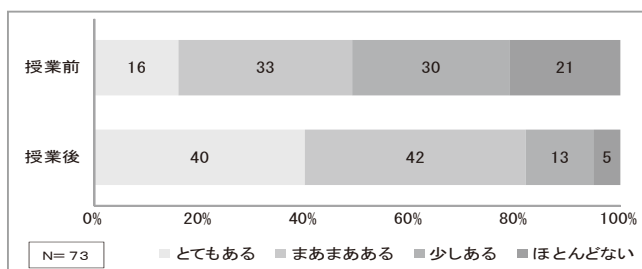


図1 アンケート【①保育の学習や幼児について興味・関心】

② 「絵本」を読むことや「絵本」への興味・関心

「絵本を読むことや絵本への興味・関心はあるか」という問いに、とてもあると回答した生徒は、授業前は11%と低かった。授業後には33%の生徒がとてもあると回答した。まあまああると回答した生徒も加えると82%になり、多くの生徒が「絵本」を取り入れた学習を通し

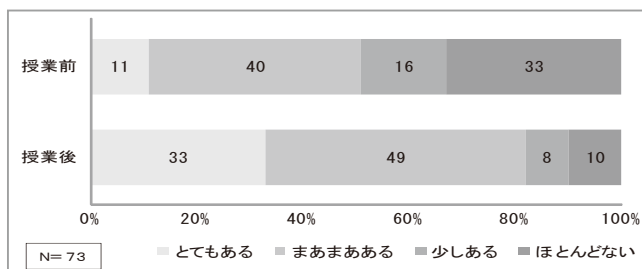


図2 アンケート【②「絵本」を読むことや「絵本」への興味・関心】

て「絵本を読むこと」や「絵本」への興味・関心を高めていった。〈図2：アンケート〉

③ 「絵本」は幼児の成長にとって大切

「絵本は幼児の成長にとって大切か」という問いに大切と回答した生徒は、授業前は33%だった。授業後には、64%に増えていた。まあまああると回答した生徒も加えると、96%が「絵本」は幼児の成長にとって大切であると回答していた。これは、生徒自身が「絵本」を読む学習を通して、幼児の成長にとって「絵本」の大切さを実感していったと考えられる。〈図3：アンケート〉

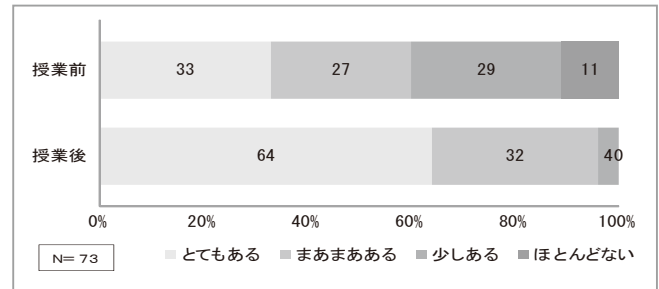


図3 アンケート【③「絵本」は幼児の成長にとって大切】

④ 「絵本」は幼児を育てていくために大切なもの

「絵本は幼児を育てていくために大切なものか」という問いに、大切と回答した生徒は授業前は、30%と低かった。授業後には、63%に増えていた。まあまああると回答した生徒を加えると、82%になり、「絵本」は幼児を育てていくために大切なものであると生徒は、考えるようになり「絵本」を取り入れた学習を進めていくことで、「絵本」の大切さを実感したと考えられる。〈図4：アンケート〉

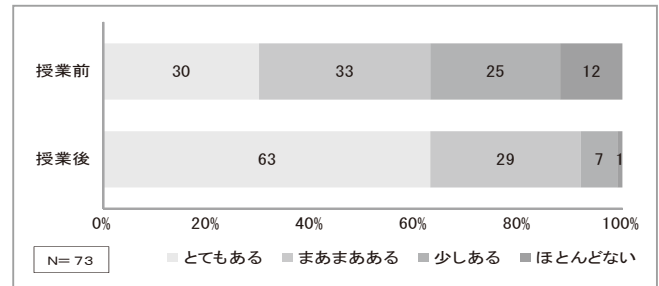


図4 アンケート【④「絵本」は幼児を育てていくために大切なもの】

⑤ 「絵本の読み聞かせ」に興味・関心

「絵本の読み聞かせに興味・関心はあるか」という問いに、とてもあると回答した生徒は、授業前は11%と低かった。授業後は、30%の生徒がとてもあると回答した。まあまああると回答した生徒を加えると79%になり、「絵本の読み聞かせ」を実際に仲間と共に学習をすることを通して生徒は、「絵本の読み聞かせ」に興味・関心をもつようになっていったと考えられる。〈図5：アンケート〉

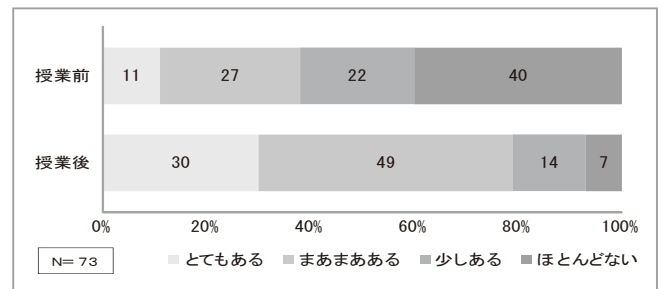


図5 アンケート【⑤「絵本の読み聞かせ」に興味・関心】

⑥ 「絵本の読み聞かせ」は幼児の成長にとって大切

「絵本の読み聞かせは幼児にとって大切か」という問いに、とてもあると回答した生徒は、授業前は22%であった。授業後は、64%の生徒がとてもあると回答した。まあまああると回答した生徒を加えると94%になり、幼児の成長にとって「絵本の読み聞かせ」が大切なものであると生徒は、学習を進めていくことで、実感するようになっていったと考えられる。〈図6：アンケート〉

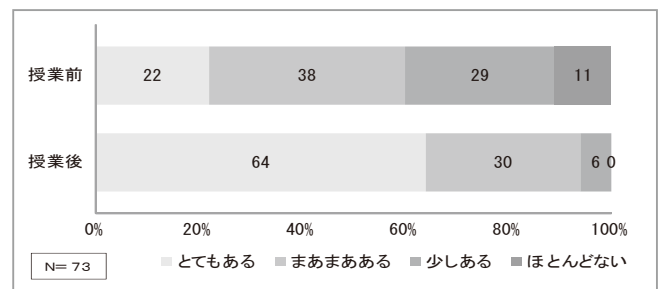


図6 アンケート【⑥「絵本の読み聞かせ」は幼児の成長にとって大切】

〈「絵本の読み聞かせ」の授業後の生徒の感想〉

- 読み手が楽しく絵本を読んでいると、きっと幼児も楽しく聞けるのだと分かりました。セリフを楽しく読んだり、悲しいところは悲しく読んだりすると幼児にも聞き入ってもらえるんじゃないかと思いました。年齢によって選ぶ絵本を替えるのも大切だと思いました。まだ言葉の分からない子には、簡単な絵本を選ぶなど工夫したいと思いました。(女子)
- みんな絵本を読むのが予想以上にうまかった。話があきなかった。時間が足りないくらいだった。大きな声で読む人、ハキハキと分かりやすく読む人、感情を込めてその中に入ったかのように読んでいる人、いろいろなことが絵本の読み聞かせで知ることができたし、聞くことができた。感情を込めてそのお話を想像して、相手を引き込むような読み方で絵本を読むように工夫した。そういう読み方だと幼児も真剣に聞いてくれて楽しんでもらえるのだと分かった。(男子)

⑦ 「幼児の育つ環境」についての興味・関心

「幼児の育つ環境についての興味・関心はあるか」という問いに、とてもあると回答した生徒は、授業前は19%であった、授業後は、45%の生徒がとてもあると回答した。まあまああると回答した生徒を加えると85%になり、「幼児の生活と家族」の学習をすることで生徒は、「幼児の育つ環境」に興味・関心を高めていったと考えられる。〈図7：アンケート〉

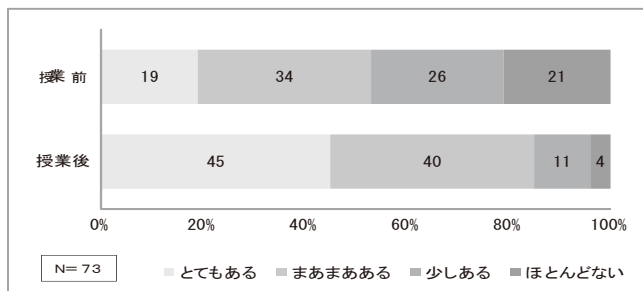


図7 アンケート【⑦「幼児の育つ環境」についての興味・関心】

⑧ 「幼児の育つ環境」に家族や周りの人たちが関係

「幼児の育つ環境に家族や周りの人たちが関係しているか」という問いに、とてもあると回答した生徒は、授業前は34%であった、授業後は、63%の生徒がとてもあると回答した。まあまああると回答した生徒を加えると92%になり、「幼児の育つ環境」には、家族や周りの人たちが関係していることに生徒は、「幼児の生活と家族」の学習を通して学んでいったと考えられる。〈図8：アンケート〉

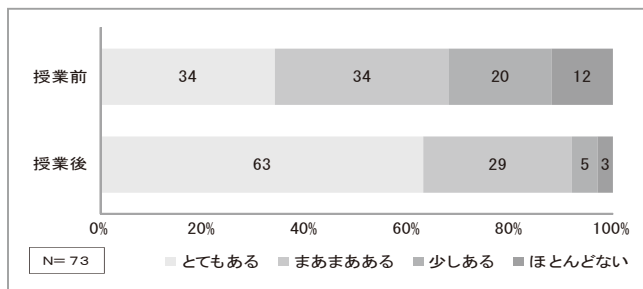


図8 アンケート【⑧「幼児の育つ環境」に家族や周りの人たちが関係】

〈「幼児の育つ環境を考える」学習の授業後の生徒のまとめと感想〉

- 幼児の周りには、たくさん危険があるが、危険なことから学べることがある。親は幼児の服装や食事、自分の行動についてもよく考えることが大切。幼児は遊ぶことや人とかかわることで成長していく。私たちは、まだ親じゃなくて育てられる側だけど、自分よりも年下の幼児のために、できることはたくさんあると分かりました。幼児に会ったら挨拶をしてあげたい。幼児のやりたいことに合わせて一緒に遊んであげたいと思いました。(女子)
- 今までの幼児にかかわる学習を振り返って、幼児は大人の姿を見て育つだけでなく、人形遊びや絵本の読み聞かせでも言葉を覚えることや、食事の回数(おやつも含めて)が多いことが分かった。幼児がなぜフードのついた服を着たりしないか、味の薄いものを食べたり、人形を使った遊びで言葉をしっかり覚えたりするのかを初めて知ることができて良かった。これからの人生に生かしていきたいと思った。(男子)

7 成果と課題

以下の、(1)、(2)の視点から行ったアンケート調査の結果や生徒の学習の記録等から、「幼児の生活と家族」の学習において、「絵本に親しむ」・「絵本の読み聞かせ」と「幼児の育つ環境を考える」学習の「体験活動」や仲間との「協働型学習」を取り入れた学習を展開することが生徒の学習に有効に機能し、本研究仮説は、ほぼ検証されたと考える。

(1) 仲間との「協働型学習」の視点から

「絵本の読み聞かせ」や「幼児の育つ環境を考える」学習において、生徒が授業後に記述した「絵本の読み聞かせ」の感想や「幼児の育つ環境を考える」学習のまとめと感想(6(3)アンケート調査の結果と考察⑤、⑥を参照)から、仲間との「協働型学習」が見られるのは第4、5次なので、自分だけでは得られなかった考えにも仲間の意見により気付かされた生徒が多かった。仲間との「協働型学習」で得られた考えを基に自らの考えを深め、個々のワークシートにまとめていた。

「幼児の生活と家族」の学習では、幼児の発達と生活、幼児との関わり方、子どもが育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義等、生徒は多くの視点を広げたと考えられる。題材の学習終了後の生徒の感想(6(2)授業の実際〈題材の学習後の生徒の感想〉を参照)から、今後の課題を見出していった。

(2) 題材計画と授業の展開の工夫の視点から

生徒は「絵本の読み聞かせ」や「幼児の育つ環境を考える」学習後のアンケートの結果(6(3)アンケート調査の結果と考察を参照)では、どの項目においても最初は低い結果であったものが、授業前に比べて授業後には、80%~90%以上の生徒が肯定的にとらえていた。「絵本の読み聞かせ」や「幼児の育つ環境を考える」学習の展開を工夫する取組により、生徒は学習に対する興味・関心を高めたり、多くの学習内容を理解したりしていったと考えられる。

今後の課題として、「絵本の読み聞かせ」や「幼児の育つ環境を考える」学習前に行う、幼児の成長や発達について理解を深めるための「幼児の成長と発達」の調べ学習と一層の関連を図り、工夫するため内容を検討していきたい。

〈参考文献〉文部科学省 「中学校学習指導要領解説 技術・家庭編」平成29年7月